

ハンス・フーガーホースト議長のメルボルンで行われた IFRS 財団カンファレンスでスピーチ(2011年11月)

抄訳・仮訳

歓迎とはじめに

IFRS に関するこの重要な会議へようこそいらっしゃいました。私は、聴衆の中に、非常に多くの顔なじみを見ることが出来てとても嬉しく思います。また、ご支援に対して非常に感謝しています。毎年、IFRS 財団は世界の異なる地域で4つの主要な会議を開催します。今年、私たちはサンパウロ、トロントおよびチューリヒでイベントを主催しました。今日、私たちは、今年最後の会議のためにメルボルンの美しい都市にいます。

オーストラリアは、財務報告において非常に重要な国際的役割を伝統的に果たしています。オーストラリアは、多くの点で IASB の知識を有する創始者であり、基準設定者の「G4(+1)」グループの設立メンバーの1つでした。また、オーストラリアは IFRS を採用する最初の国々の1つで、その時以来 IFRS の開発において率先した役割を果たし続けています。

オーストラリアは一人ではありません。IFRS の支援はアジア-オセアニア地域を横断して広く行われています。地域のほとんどの国々は既に IFRS を採用しました。また、国際基準への移行を支援するために、私たちはまだ適用していない残りの国々と作業をしています。

当該地域の各国は、AOSSG を設立するために力を合わせました。AOSSG は、2年間活動中あり、大成功であることを証明しています。他の地域が地域的に協力しているこのモデルをコピーしているほどです。

アジア-オセアニアは、ロンドンの外の私たちの最初の連絡事務所として最適な所に位置しています。私は、来年の東京の新しいオフィスの開始を楽しみにしています。

アジアは、私たちボードメンバーとスタッフの多くにとってお気に入りの場所です。ですからロンドンからビジターがしばしば訪れることを期待して下さいます。

プログラム

今日の出来事に目を向けさせてください。私は、15分のQ&Aの後に続けて、2012年以降の私たちの計画の概略を述べるために20分かかります。その後、私はPKとWei-Guo Zhangへパスして、シニアテクニカルディレクターであるスー・

ハンス・フーガーホースト議長のメルボルンで行われた IFRS 財団カンファレンスでスピーチ(2011年11月)

抄訳・仮訳

ロイドおよびアラン・テスクエアラと共に IASB の作業のより詳細なテクニカルアップデートを行います。

コーヒブレイクの後に、オーストラリア会計審議会の議長であり、AOSSG で新しく任命された議長であるケビン・スティーヴンソンは、アジア-オセアニアの財務報告問題についてのパネルディスカッションをリードします。

ランチの後、私たちは様々なトピックの 5 つの平行セッションで再開するでしょう。これらの 5 つは IFRS 適用と関係があります。また、さらに 4 つのセッションがコーヒブレイクの後に行われます。会議は午後 5 時ごろに閉会します。

これはタイトスケジュールです。また、私たちはたくさんをしなければならぬため、遅れないように進めましょう。私は、2012 年以降の IFRS について話すように依頼されました。また、2 つの特殊ではあるが、非常に適切なトピックについて私の考えを共有するためにこの機会を利用したいと考えています。

これらは、金融商品会計および世界基準の見通しを改正する私たちの仕事です。

金融商品会計の改正

金融商品について話を始めよう。

このプロジェクトはいつも困難な中にあります。多くの時代に最悪の金融危機によってプロジェクトを中途にすることは、それをさらに困難にしています。

私たちと FASB は異なる方向に引き裂かれました。私たちは各々出来る最良のことを答えようとしてきました。しかし、それはコンバージェンスを達成することを非常にチャレンジングなものにしました。

私たちには、分類と測定に始まり、いくつかの困難な選択をしなければなりません。IFRS 9 号は非常によい標準です。私たちは、1 年未満でこの基準をゼロから開発しました。私たちは、IAS 39 号に関連した複雑さを落ち着かせました。私たちは「自己の信用」問題を落ち着かせました。

ハンス・フーガーホースト議長のメルボルンで行われた IFRS 財団カンファレンスでスピーチ(2011年11月)

抄訳・仮訳

スー・ロイドの率いるアウトリーチ努力は、私たちがインプットを求め、リアル・タイムの私達の提案を改訂したプロジェクトの方法について、広く賞賛されました。オーストラリアを含むいくつかの国々はつき進み、当該基準を採用し、その時以来、その導入準備に多大な資源を投資しました。

その間、FASB は、金融商品に関するアプローチを洗練しています。FASB は公開草案のフィードバックに回答し、全面公正価値アプローチから混合測定モデルに移行しました。

私たちの立場にはまだ違いがあります。しかし、私たちは 100 万マイルも離れていません。

同時に、保険の基準に関する私たちの作業が進むとともに、IFRS 9 号とのその相互関係に問題があったことがますます明らかになりました。私たちは、限定した方法で IFRS 9 号を適応することによって、徐々にこれらの両方の問題(保険およびコンバージェンス)についての多くの進歩をするという結論に達しました。

それは容易な決定ではありませんでした。最も重要なことに既に基準を採用した私たちの関係者にとってはあまり喜ばしくないかもしれないことを私たちが知っていたからです。

また、それは変更が制限されるだろうと言われる要因の 1 つです。しかし、実際には、より広い変更のための圧力は確かにそこにあると思われます。

しかしながら、潜在的利益は非常に明らかなので、私たちは、前進することに決めました。また、私たちが注意して進め、絶対に必要なものへのどんな変更も制限できるので安心できます。

減損については、IASB と FASB はより並列の立場です。たとえ満足な解決策を見つける方針が非常に困難でも、私たちはまだ非常に緊密に働いています。現在の環境では、減損プロジェクトがどれくらい重要かは明らかです。いつ、そしてどのように、銀行が評価下げを行うかはグローバルな金融制度にとって系統的に重要です。私たちの仕事は、十分な透明性および比較可能性と共に、タイムリーなやり方で得られる減損を要求する基準を開発することです。私たちはこの 1 つの権利を得る必要があります。

ヘッジについては、非常によく受け取られた一般的なモデルを考え出しました。私たちのモデルのスタッフ・ドラフトは私たちが完全に正しいことすべてを得たことを確かめるために公開されるでしょう。私たちの提案をよりじっくり見る時間をさらに FASB に与えるでしょう。私たちは、ヘッジモデルが投資者に、現代の商習慣の経済的実態に対してもっと信頼できる見解を提示すると確信しています。ミスマッチの説明を是正することによって、会社が経済的リスクをヘッジする方法を投資者がはるかによく見える方法を提示することになります。

残る金融商品プロジェクトは相殺です。私たちは、一緒にプロジェクトを始めました。しかし、私たちの着地点は異なりました。私たちは、比較可能性に役立つ追加開示を要求するつもりです。しかし、それは理想的な結果ではありません。

私が最初に言ったように、これは容易なプロジェクトにならないでしょう。IAS 39 号(オリジナルの金融商品基準)は、開発するために10年以上かかりました。

私たちは長く待てません。私達は途中およびいくつかの場合に、困難な決定をし、私達が考えたことが完全であった時の仕事に立ち戻らなければなりません。

新しい基準は何年も(恐らく数十年間)存続するでしょう。したがって、それは正しいものである必要があります。私たちがこの重要なプロジェクトを終了させるまで我慢してください。

グローバル基準の前途

私が議論したい第2のトピックはグローバルな会計基準の前途です。10年前には、国際会計基準を使用した国々はほとんどありません。誰でも自国のしたい通りにしました。それは国際的な比較を非常に困難にしました。

その時以来、進歩は非常に著しかった。IFRS は今、100 か国以上の会社で使用が要求されるか許容されています。グローバルな会計基準への動きは、グローバルな財政改革アジェンダの必須要素と見なされています。それはより弾力のあるグローバルな金融基盤を築く根底となるものを提供しています。

ハンス・フーガーホースト議長のメルボルンで行われた IFRS 財団カンファレンスでスピーチ(2011 年 11 月)

抄訳・仮訳

そのため、代々の G20 サミットは IASB の仕事を支援し、世界基準への迅速な動きを要求しました。そうする際に、G20 は、IASB が先進国、新興国両方の必要を満たすに違いないことを強調しました。

大多数の G20 メンバーは、今 IFRS の使用を要求しています。まだすべての上場会社に IFRS の適用を要求している「big4」は、中国、インド、日本およびアメリカです。

中国はまさに短期間でかなりの道のりを歩んできました。中国の会計基準は今、IFRS に非常に似ています。完全な形で来るために、中国はただ非常に小さな一歩を踏み出さなければなりません。私は、大きな進歩を遂げることに慣れている国がこの非常に小さなステップをまた歩むだろうと確信しています。

私たちは、中国の政府当局との非常によい関係を持っています。その一例は、新しく決まった IASB 新興国グループに事務局を供給する中国の協定です。さらに、私たちは中国の財政部からテクニカルスタッフを配属させています。

インドの政府当局はインドの会計基準を本質的に改訂する過程にあります。フルアドプションの途中において、インドには、まだ克服すべきかなり多くの障害があります。しかしながら、私は、インドが IFRS ファミリーの完全に傾倒したメンバーになるのを助けるためには両方の側に共有される要望があると信じています。

更に、IASB のアジェンダ・コンサルテーションは、恐らくインドおよび他の新興国にとって重要な問題について熟慮する機会を提供します。私は 1 月にインドを訪れ、いくつかの生産的な議論を楽しみにしています。

IFRS および日本基準のコンバージェンスのために、IASB および企業会計基準委員会 (ASBJ) は、長年ともに働きました。今月の初めに、評議員会は残りの差異を減少させる方法について議論するために 14 回目の会合を行いました。

この業務の功勞により、日本は、ある日本の会社が IASB が出した IFRS を使用して報告することを今許可しています。いくつかの日本の会社は既にそうしました。また、私は、さらに多くの会社が先例に従うのを計画していると信じています。

ハンス・フーガーホースト議長のメルボルンで行われた IFRS 財団カンファレンスでスピーチ(2011年11月)

抄訳・仮訳

更に、J-GAAP から IFRS への移行を強制適用するかどうか、もしそうならいつかについて来年日本が決定すると期待されています。

万一、日本が IFRS に完全に委託することを決定すれば、移行期間に関する議論があります。しかし、これは、変更への実際の決定の二次的なものです。日本は補佐として私たちに4人のテクニカルスタッフをまた提供します。

次にアメリカに入りましょう。

世界中で私の行くところならどこでも、私は他のどの質問よりもある一つの質問をされます。米国は IFRS に乗り込んでくるのか、もしそうならいつ、どのように？

私は、SEC の内部意思決定に関する特権のある識見を持っていません。しかしながら、事象のペースは、増しているように見えます。

SEC は、今年、IFRS の受け入れ可能な組み込みに関して決定するつもりであると繰り返し言いました。

私たちのボストン会議で、私は、決定する際に SEC が直面する多くの実務上の挑戦を認識しました。

私は、そのことが本当であることを否定しません。米国は、単一で最大で世界で最も流動的な資本市場です。米国は、既に何十年以上も財務報告基準の洗練されたセットを開発しました。よって、後の関係は注意深く考慮しなければなりません。そのため、私は、SEC のスタッフの作業計画で述べられた IFRS の考察におけるアプローチを支援しました。

さらに、米国が国際会計基準の支援を約束することに注目することは重要です。それは SEC の政策であり、米国政府の政策です。また、それは、G20(米国はその中でキープレイヤー)の政策です。

SEC のスタッフは、米国が IFRS を採用することに関係する問題について、完全に包括的な評価をほとんど完成しました。これらの最新のペーパーは、IFRS

ハンス・フーガーホースト議長のメルボルンで行われた IFRS 財団カンファレンスでスピーチ(2011年11月)

抄訳・仮訳

を使用することを報告する会社によって基準がどれくらいよく適用されているか、および IFRS と米国 GAAP の間の残りの差異を調査しています。

IFRS を適用した財務諸表は概ね次のように分析されると最初のペーパーは結論づけています。主に会計方針の開示の欠落及び個別の基準の適用方法による一貫性のなさが観察されています。確かに、これは監督当局のレビューによって共通の発見です。

ウォール・ストリート・ジャーナルは、この研究の結果が米国 GAAP を使用したフォーチュン 500 会社に関する従来の SEC の研究に似ていると述べました。会社が IFRS あるいは米国 GAAP を使用しても、適用の一貫性に関して問題は存在しません。

基準設定者および証券監督当局は、私たちが適用の一貫性を改善しなければならないことを知っています。評議員会の戦略調査の事前の結論は、財団と IASB は、基準の適用と関連する問題で、より多くの積極的役割をするべきであるとしています。

私たちは、国内及び地域の基準設定主体、IOSCO によってコーディネートされた証券規制当局と会計専門家と緊密に協力して働くことにより、これを達成するでしょう。

しかしながら、重要点は次のとおりです。1つの単一言語を持っていれば、一貫した適用を目指してただ励むことが出来るのです。そして、IFRS は唯一の候補です。さらに、SEC が外国の民間証券発行体と同様に米国の会社のための IFRS の活発なエンフォーサーならば、彼らは一貫性を駆り立てることができる立場にあるでしょう。

IFRS と米国 GAAP の間の差異について考察する第2のペーパーは、大きな驚きを含んだものではありません。ペーパーは、IFRS と米国 GAAP が一直線になってもたらしたすさまじい前進を認識します。しかしながら、ペーパーは、さらにかなり多くの差異が、特に詳細さにおいて、どのように残るか示しています。これらの差異の多くはあまり重要ではありません。しかし、コンバージェンスのプロセスを通じてそれらの差異を解消することは非常に長い間かかりました。

ハンス・フーガーホースト議長のメルボルンで行われた IFRS 財団カンファレンスでスピーチ(2011年11月)

抄訳・仮訳

この分析は、進行中のコンバージェンスが答えではないと私にもっと確信させてくれます。

確かに、2006年には、SECは、狭い差異を解消することをやめて、かつ総合的な状況に注目するようにIASBとFASBに促しました。常に小さな差異を解消しようと努力して、さらに10年を過ごすことは、米国で、あるいはほかのどこかの国において、投資者の最大の利益とはなりません。それは徐々にさらに増加する便益はなく、修正に著しいコストを課します。

IFRSおよび米国GAAPが非常に改善されるポイントへ、収束プロセスは私達を向かわせ、非常に有用でした。これらの基準は今とても近いです。結局、二重意思決定プロセスは非常に機能しにくく、不安定な方法です。実際上、それは最後に結論がそれる、あるいは次善の結果に結びつく場合があります。

ポイントを説明するために、相殺のプロジェクトを考えてみてください。手短かに言って、報告企業が非常時にのみこれらの量を相殺することができる場合、ボードは、2つの当事者間の義務がバランスシートの中でネットされるかどうか決定しなければなりませんでしたが、米国アプローチ、あるいはさらに有能であるに違いない私たちのアプローチはまたいつでもそうするでしょう。差異は、銀行のバランスシートの40%も大きくなりえます。私たちはコンバージェンスから始めて、ダイバージェンス(分散)で終わりました。明らかに、これは非常に大きな期待外れでした。多くの投資者にとって、多くのアメリカの銀行のバランスシートは、同じくここに入れられるアジア・ヨーロッパの銀行よりはるかに小さく見えるでしょう。これは、明らかに投資者の最大の利益ではありません。

二つの独立性の高く有能なボードがある時、彼らがお互いに合意し、またある時は合意しないということは単純な真実です。だからといって、一つが正しく、別のものが誤りであるわけではありません。それらは異なる結論に達するのです。

万一私がボードを半分に分割し、10のプロジェクトを考慮してくれるように彼らに依頼するなら、同様のことが真実となるでしょう。私は、より小さなボードがそれぞれ10のプロジェクトすべてに関して同一の結論に達するかどうか疑わしいと考えています。したがって、コンバージェンスは、妥協が要求されることになるでしょう。

抄訳・仮訳

したがって、コンバージェンスは、必ずしも最高品質の結果に帰着するとは限りません。それはその目的にかないませんが、今は動き始めるときです。

私たちの国際的なステイクホルダーは、財務報告および世界的な採用における改良を容易にする方法として、IASB と FASB の間の現在のコンバージェンスプロセスを支援しました。同時に、多数が、無期継続的に支援しないだろうということを既に示しました。

SEC がどちらの方向へ行っても、最も必要なものは明瞭さです。会計基準の新しい移行は大きな挑戦です。コミットメントが与えられれば、IASB は世界の至る所で他の管轄において有している問題があるので、注意深く米国における移行に関連する問題を考えているでしょう。

結論

皆さん、時間を頂き感謝します。IASB はティーンエイジャーではないが、確かに急速に成長している若い組織です。私は、公益の中で行動し、正しいことをしようとしている人々の精力的で賢いグループを幸運にも継承しました。IASB は多くの挑戦をしています。29 の異なる国々から来る 15 のボードメンバーおよび 59 人のテクニカルスタッフがいるにもかかわらず、私たちはまだロンドンのみで運用を行っています。そして、私は私たちの最初のサテライト・オフィスが東京から作動し、アジア-オセアニア地域のニーズを支援できることを嬉しく思っています。

組織がそのグローバルな責任に適合するとともに、内部構造は発展していきます。アウトリーチのような多くのエリアでは、私たちは世界クラスです。他のエリアでは、私たちには、直すべき改善点があります。

投資者および財務情報の他のユーザの利益を堅く約束し、開かれ、柔軟に反応する IASB をリードすることを約束します。

私はあなたにとって会議が非常に成功したものであると願っています。